

愛媛県への  
問い合わせ先  
寄附金申出先

愛媛県総務部管理局総務管理課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2  
 【電話】089 912 2151 【ファクス】089 921 6363  
 【Eメール】solumukanri@pref.ehime.jp  
 【ホームページ】ふるさと愛媛応援サイト  
<http://www.pref.ehime.jp/h10100/furusatonoze/frstnz.htm>

県外での現金受け入れ窓口

愛媛県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目6番3号 都道府県会館11階  
 【電話】03 5212 9071 【ファクス】03 5212 9072

愛媛県大阪事務所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9-1 肥後橋センタービル  
 【電話】06 6441 2829 【ファクス】06 6441 2830



県内の各市町への御寄附ありがとうございました。

平成21年度も、愛媛県への寄附とは別に県内の20市町に対しても多くの方々から温かい御寄附をいただきました。

今後も引き続き、県内の市町への御支援よろしくお願いたします。

なお、寄附の方法や寄附金の活用内容など、詳しくはそれぞれの市町にお問い合わせください。

各市町へのお問合せ先・寄附金申出先

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号
松山市	納税課	790-8571	松山市二番町4丁目7番地2	089-948-6850
今治市	市民税課	794-8511	今治市別宮町1丁目4番地1	0898-36-1510
宇和島市	企画情報課	798-8601	宇和島市曙町1番地	0895-24-1111(内2517)
八幡浜市	政策推進課	796-8501	八幡浜市北浜1丁目1番1号	0894-22-3111(内342)
新居浜市	総合政策課	792-8585	新居浜市一宮町1丁目5番1号	0897-65-1210
西条市	納税課	793-8601	西条市明屋敷164番地	0897-56-5151(内2286)
大洲市	企画調整課	795-8601	大洲市大洲690番地の1	0893-24-1728
伊予市	財務課	799-3193	伊予市米湊820番地	089-982-1111(内515)
四国中央市	企画財政課	799-0497	四国中央市三島宮川4丁目6番55号	0896-28-6007
西予市	税務課	797-8501	西予市宇和町卯之町3丁目434番地1	0894-62-6401
東温市	総務課	791-0292	東温市見奈良530番地1	089-964-2001
上島町	総務課	794-2592	上島町弓削下弓削210番地	0897-77-2500
久万高原町	総務課	791-1201	久万高原町久万212番地	0892-21-1111(内101)
松前町	総務課	791-3192	松前町筒井631番地	089-985-4103
砥部町	企画財政課	791-2195	砥部町宮内1392番地	089-962-7250
内子町	総務課行政財政班	795-0392	内子町平岡甲168番地	0893-44-2111(内326)
伊方町	政策推進課	796-0301	伊方町湊浦1993番地1	0894-38-2659
松野町	総務課企画財政グループ	798-2192	松野町松丸343番地	0895-42-1112
鬼北町	企画財政課	798-1395	鬼北町大字近永800番地1	0895-45-1111(内271)
愛南町	企画財政課	798-4196	愛南町城辺甲2420番地	0895-72-7317

平成21年度

ふるさと**愛媛**応援寄附金  
活用事業実績報告書

～ふるさと納税への御協力ありがとうございました～

愛媛県では「ふるさと愛媛応援寄附金」として、平成20年度に引き続き本県ゆかりの皆様へ御協力をお願いしましたところ、平成21年度中に135人の方々から884万7千円の御寄附をいただきました。

この貴重な寄附金は、重要政策である愛媛のブランド化や未来を担う人材の育成など4施策9事業の財源として、「輝くふるさと愛媛づくり」の推進に大いに役立っており、皆様の御芳志に改めて感謝申し上げます。

今後とも、皆様とふるさと愛媛との縁を大切に育て参りたいと考えておりますので、愛媛の発展に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛媛県知事 加戸守行





平成21年度に頂いた寄附金884万7千円(135件)は、次の施策に活用しました。

## 愛媛のブランド化

活用金額 2,247,724円

### 愛媛の農林水産物等のブランド化と販路開拓

#### 県産農林水産物のブランド化の推進、県外での販売拡大の促進

県産農林水産物のブランド化では、えひめ愛フード推進機構(会長:知事)が、安全・安心で高品質な農林水産物を、「愛」あるブランド商品として認定していますが、2産品を新た認定した結果、平成21年度末の認定産品は、合計36品目・72産品になっています。県外での販売拡大では、東京、近畿、東北地区において、会長によるトップセールスなどを行うとともに、海外への輸出促進については、香港・台湾向けに柑橘のテスト輸出や現地での商談活動などを行いました。



会長(知事)によるトップセールス

### 観光・物産の振興

#### 宇和島真珠のブランド化を推進し、南予地域経済を活性化

宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会では、県の助成により大手航空会社のCA(客室乗務員)デザインの真珠オリジナルジュエリーを製作発表したほか、著名なデザイナーを招いたうわじまデザイン塾、真珠加工技術を習得するうわじまデザイン研究会、全国から400点を超える応募があった宇和島パールデザインコンテストを実施し、真珠を核とした宇和島地域の活性化とデザイン力の向上を図りました。



宇和島パールデザインコンテスト

## 愛媛の自然環境の保全

活用金額 2,200,000円

### 森林の整備・保全

#### 放置森林の機能回復を目的に間伐等の森林整備を実施

県土の71%を占める森林は、木材供給だけでなく水源かん養や山地災害防止等の公益的機能を有していますが、近年、林業の採算性の悪化による経営の放棄、離村や高齢化に伴う後継者の減少などが原因で、長期にわたって必要な施業が行われずに放置される人工林が増加しており、機能の低下が危惧されています。

このため、(財)愛媛の森林基金では、森林所有者から管理委託を受け、放置された森林の機能回復を目的に383haの間伐事業を実施しました。



間伐の実施状況

### 循環型・脱温暖化社会の構築

#### 愛媛県地球温暖化防止県民運動推進会議を核とした県民総ぐるみによる温暖化防止活動を推進

7月から9月までの期間中、各参加家庭が節電に取り組み、前年同月の消費電力と比較して削減できた電力量に応じて協賛企業がエコポイントを交付する「えひめエコチャレンジ2009」を実施し、協賛企業が交付するエコポイント数に応じて、補助金を交付しました。

また、日ごろから環境に配慮した生活を実践してもらうきっかけとするため、県内の小学5年生を対象に、夏休み中に家庭で節電に取り組んでもらい、その結果を「こども環境家計簿」に記入して提出する「こども温暖化防止活動実践事業」を実施しました。



愛媛県地球温暖化防止キャラクター「ストッピー」

## 愛媛の医療・福祉の充実

活用金額 2,200,000円

### 地域医療体制の充実

#### 医療機関の適切な受診の普及・定着の推進

地域医療の維持・確保のため、医療機関に対して救急患者の受入実態調査を実施し、状況把握を行ったほか、県民の方々に対して地域の救急医療を守るための日常の心がけや各圏域の救急医療情報を掲載した啓発用リーフレットの作成・配布や、中・高校生を対象としたポスター展を実施し、県民の医療機関の適切な受診の普及・定着に努めました。

### 高齢者にやさしい福祉社会づくり

#### 在宅介護研修センターにおいて介護ボランティア等の育成や新しいスタイルの研修を実施

在宅介護研修センターでは、介護家族、介護ボランティアを対象とした研修及び施設職員等介護専門職を対象とした研修、研修理論と介護の実践の場を並行して体験できる研修、在宅高齢者と介護者の同伴研修や介護を受ける側の視点に、これまで以上にシフトした研修(高齢者の尊厳を支えるケアの研修)を実施し、平成21年度は、10,104人の参加者がありました。

### ボランティア活動の支援

#### 「ボランティア・キャンペーン」の実施と協働の推進

県民の皆様へ、ボランティア参加の「きっかけづくり」としていただくため、ボランティア体験プログラムを提供する「ボランティア・キャンペーン」を夏冬季2回実施し、ボランティア活動の活性化に努めました。平成21年度は、県内各地で延べ61,911人(前年比:7,518人増)の参加がありました。

また、県民参加型の地域社会づくりを推進するため、NPOの皆様から企画提案を募集し、多様な主体による協働事業「提案型パートナーシップ推進事業」を実施したほか、協働の必要性や意義をテーマにフォーラムを開催しました。



ボランティアの実施状況

## 愛媛の未来を担う人材の育成

活用金額 2,200,000円

### 子どもの健全育成と子育て支援の充実

#### 高校生を中心とした青少年が、自主的・自発的にボランティア活動や体験活動に取り組む環境を整備

県美術館南館に開設しているヤングボランティアセンターに、123名の高校生等がヤングボランティアスタッフとして登録し、センターでの話し合いなどを通して、スタッフ間の絆を深めるとともに、他のボランティア団体等の協力を得ながら、絵本の読み聞かせ、小学生を対象とした3泊4日の通学合宿、クリスマス会の企画など、新たな活動を実施しました。活動を積み重ねることで、スタッフ自身の自立的な活動への原動力となり、愛媛の未来を担う若い力が育ってきています。



ヤングボランティアウォークinお城下まつやま

### 競技スポーツの振興

#### 地域密着型のプロスポーツを活用し、地域の活性化と愛媛の情報発信強化を促進

県では、愛媛FCと愛媛マンダリンパイレーツによるプロスポーツ活動を地域活性化のための新たな地域資源と位置付け、全県にわたる地域密着型の活動展開とこれを通じた地域活性化に県民総ぐるみで取り組んでおり、愛媛県プロスポーツ地域振興協議会(会長:知事)を通して、スポーツフォーラムの開催や応援バス運行への助成、愛媛FCのアウェイゲーム会場での愛媛情報発信など各種事業を実施したほか、愛媛のスポーツを切り口に愛媛をPRする「愛スポカレンダー」を作成・配布するなど、プロスポーツを活用した地域活性化に積極的に取り組みました。



サッカーリーグ「愛媛FC」